



古座川町で森林保全活動の実施を決定！



このたび、食品を中心に生活全般に関わる商品を組合員に提供するわかやま市民生活協同組合（本部・和歌山市）が、古座川町において、県が進める「企業の森」事業を活用し、森林保全活動を実施することになりました。

「わかやま市民生協の森（仮称）」の活動は、それぞれ今後10年間にわたり広葉樹等を育林していく森林保全活動で、この森林保全活動の実施と併せ、地元古座川町の皆さんとの交流なども計画しており、都市と地方の交流による地域の活性化にも寄与するものと期待されます。

なお、「わかやま市民生協の森（仮称）」は、古座川町として初めての「企業の森」の活動となります。

■わかやま市民生活協同組合「わかやま市民生協の森（仮称）」の概要

① 実施地の概要

古座川町洞尾の山林 約0.4ha（町有林）

② 実施計画

平成20年4月に植栽を実施し、以降10年間にわたって森林保全活動を行う。

・植栽樹種及び本数

サクラ、コブシ、カシ類等 約680本

・植栽や下草刈り等の作業及び現場管理等については、南紀森林組合に委託する。

・組合員や組合員の家族が植栽や下草刈り等の作業に参加する。

■森林保全・管理に係る協定の調印式

平成20年2月29日（金）11：15～

- ・場 所：和歌山県庁本館3階 知事室
- ・出席者：わかやま市民生活協同組合 理事長
古座川町長
南紀森林組合 代表理事組合長

